

# 凡例

以下に示す「要地方言活用体系記述」に掲載した都道府県別方言区画図を総合し、「日本列島方言区画図」を作成した<sup>1</sup>。活用体系記述を行っていない県（※を付したもの）については、参考文献に挙げた方言概説類に掲載されている方言区画図を参考にして作図した<sup>2</sup>。

- |                          |                            |
|--------------------------|----------------------------|
| 01 北海道：北見市常呂町岐阜方言（朝日祥之）  | 27 大阪府：大阪府方言（野間純平）         |
| 02 青森県：※（平山輝男ほか(編)1992）  | 28 兵庫県：神戸市方言（酒井雅史）         |
| 03 岩手県：盛岡市方言（竹田晃子）       | 29 奈良県：※（平山輝男ほか(編)1992）    |
| 04 宮城県：仙台市方言（武田拓）        | 30 和歌山県：田辺市龍神方言（西尾純二・澤村美幸） |
| 05 秋田県：由利本荘市本荘方言（日高水穂）   | 31 鳥取県：倉吉市方言（野間純平）         |
| 06 山形県：山形市方言（竹田晃子・澤村美幸）  | 32 島根県：出雲市平田方言（平子達也・友定賢治）  |
| 07 福島県：福島市方言（半沢康）        | 33 岡山県：岡山市方言（小島裕将）         |
| 08 茨城県：水海道方言（佐々木冠）       | 34 広島県：三次市方言（小西いずみ）        |
| 09 栃木県：※（平山輝男ほか(編)1992）  | 35 山口県：東周防方言（船木礼子）         |
| 10 群馬県：藤岡市方言（新井小枝子）      | 36 徳島県：※（上野和昭(編)1997）      |
| 11 埼玉県：※（平山輝男ほか(編)1992）  | 37 香川県：高松市方言（乙武香里）         |
| 12 千葉県：南房総市三芳方言（佐々木冠）    | 38 愛媛県：松山市方言（久保博雅）         |
| 13 東京都：東京都方言（三井はるみ）      | 大洲方言（宮岡大）                  |
| 八丈島三根方言（三樹陽介）            | 39 高知県：宿毛市方言（松丸真大）         |
| 14 神奈川県：※（平山輝男ほか(編)1992） | 40 福岡県：福岡市方言（平塚雄亮）         |
| 15 新潟県：魚沼市方言（吉田雅子）       | 柳川市方言（松岡葵）                 |
| 16 富山県：富山市方言（小西いずみ）      | 41 佐賀県：武雄市北方方言（原田走一郎）      |
| 17 石川県：能登島方言（野間純平）       | 42 長崎県：佐世保市宇久町方言（門屋飛央）     |
| 18 福井県：大野市方言（松倉昂平）       | 43 熊本県：※（平山輝男ほか(編)1992）    |
| 19 山梨県：甲府市方言（吉田雅子）       | 44 大分県：由布市庄内町方言（松田美香）      |
| 20 長野県：茅野市方言（大西拓一郎）      | 45 宮崎県：※（平山輝男ほか(編)1992）    |
| 21 岐阜県：岐阜市方言（山田敏弘）       | 46 鹿児島県：鹿児島市方言（平塚雄亮）       |
| 22 静岡県：湖西市方言（森勇太）        | 甕島里方言（平塚雄亮）                |
| 23 愛知県：新城市作手方言（山田敏弘）     | 47 沖縄県：那覇市首里方言（仲原穰）        |
| 24 三重県：※（平山輝男ほか(編)1992）  | 宮古島市平良下里方言（中本謙）            |
| 25 滋賀県：長浜市方言（酒井雅史）       | 多良間島方言（下地賀代子）              |
| 湖東方言（逸民誠）                | 竹富町黒島方言（原田走一郎）             |
| 26 京都府：京都市方言（松丸真大）       |                            |

## 参考文献

- 上野和昭(編) (1997) 『日本のことばシリーズ 36 徳島県のことば』 明治書院
- 平山輝男ほか(編) (1992) 『現代日本語方言大辞典 1』 明治書院 (川本栄一郎「青森県方言」/大橋勝男「栃木県方言」/大野眞男「埼玉県方言」/日野資純「神奈川県方言」/中條修「三重県方言」/久野マリ子「奈良県方言」/糸井寛一「熊本県方言」/日高貢一郎「宮崎県方言」)

<sup>1</sup> 2020年3月に第1版を公開した。今回、誤字の修正のほか、愛媛県の方言区画図を本書に掲載した大洲方言のものに変更し、徳島県の方言区画図を上野(編)(1997)にもとづき変更した。

<sup>2</sup> 埼玉県については、平山ほか(編)(1992)の「東関東方言」「西関東方言」の名称を「東部方言」「西部方言」とした。